

総合リハビリテーション事業会計の令和7年度決算がまとまりました

長野県立総合リハビリテーションセンターの令和7年度の決算をとりまとめました。

決算の概要

※詳細は別紙のとおり

○ 業務量

病	院	入院患者数	13,566人(前年度比: 98.8%)
		外来患者数	10,021人(前年度比: 98.9%)
障害者支援施設		入所支援利用者数	11,194人(前年度比: 120.1%)

○ 損益

経常収益	:	1,774,329千円	(対前年度: 24,739千円)
経常費用	:	1,834,462千円	(対前年度: 42,486千円)
経常損益	:	△60,133千円	(対前年度: △17,746千円)
最終損益	:	△63,579千円	(対前年度: △16,114千円)

○ 主な内容

- ・障害者支援施設の入所者数増加に伴い、運営事業収益は増加し、前年度を上回りました。
- ・一方、職員給与費及び物価高騰等による材料費等の費用が増加したため、最終損失を計上しました。
- ・医療から自立訓練、就労支援までを一体的に提供できる県内唯一の施設として、専門的なりハビリを必要とする方を支援につなげることで、利用者の増加を図るとともに、経営意識を徹底し、経営改善に取り組んでまいります。

(問合せ先)

健康福祉部 障がい者支援課

総合リハビリテーションセンター担当 常盤井、宮島

電話 026-235-7455 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線 2382

FAX 026-234-2369

E-mail fuku-reha@pref.nagano.lg.jp

令和7年度 総合リハビリテーション事業会計 決算概要

1 業務量

(単位:人・%)

部門	項目	令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	増減等		説明等
				A-B	A/B	
病院	入院患者数	13,566	13,730	△ 164	98.8	前年度と比較し微減
	外来患者数	10,021	10,135	△ 114	98.9	
障害者 支援施設	機能訓練延べ人員	8,029	6,544	1,485	122.7	在宅復帰や復職を目的に機能訓練を行う新規利用者数の増加
	入所支援延べ人員	11,194	9,318	1,876	120.1	

2 損益

(単位:千円・%)

科目	令和7年度 決算 (A)	令和6年度 決算 (B)	増減等		説明等
			A-B	A/B	
運営事業収益	604,781	575,266	29,515	105.1	
うち病院収益	449,032	463,134	△ 14,102	97.0	患者数の減少
うち施設収益	118,905	98,018	20,887	121.3	利用者数の増加
運営事業費用	1,788,899	1,747,867	41,032	102.3	
うち給与費	1,197,881	1,159,041	38,840	103.4	人事委員会勧告に基づく給料、賞与の増加
うち材料費	120,644	119,050	1,594	101.3	給食材料等の価格高騰
うち経費 (燃料費・電気代等)	329,864	321,334	8,530	102.7	燃料等の価格高騰
運営事業損益	△ 1,184,118	△ 1,172,601	△ 11,517	101.0	
運営事業外収益	1,169,548	1,174,324	△ 4,776	99.6	
うち他会計負担金	1,115,121	1,119,486	△ 4,365	99.6	
運営事業外費用	45,563	44,109	1,454	103.3	控除対象外消費税
経常損益	△ 60,133	△ 42,386	△ 17,746	-	
特別利益	20	1,230	△ 1,210	1.6	過年度損益修正益
特別損失	3,466	6,309	△ 2,843	54.9	過年度損益修正損
最終損益	△ 63,579	△ 47,465	△ 16,114	-	

千円未満は四捨五入の端数処理を行っている。

3 経営指標

経営指標	令和7年度	令和6年度
運営事業収支比率	33.8	32.9
経常収支比率	96.7	97.6
流動比率	269.7	261.3

経常収支比率は悪化し、100%を割り込みました（赤字決算）が、現金収支は赤字ではないため、流動比率は向上し、優良とされている200%を超えています。